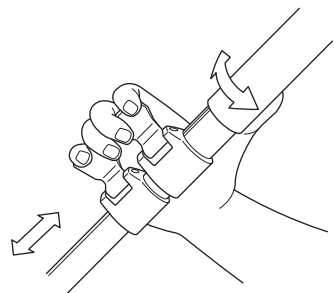


脚の伸縮

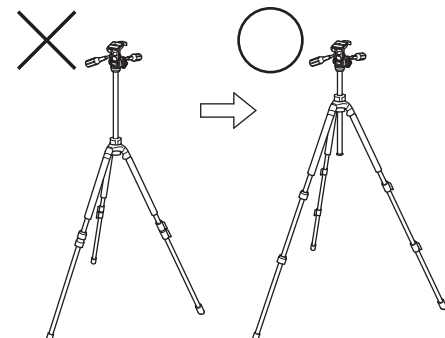
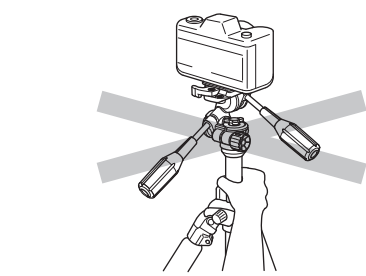
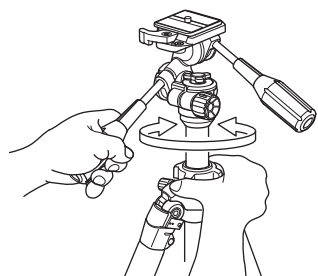


脚ロックレバーを開くと脚は伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。太いパイプを優先してご使用になると、グラつきが少なくなります。

脚を閉じた状態で、石突を下に向けて操作すると、扱いがらくです。

エレベーターの使い方

⚠注意

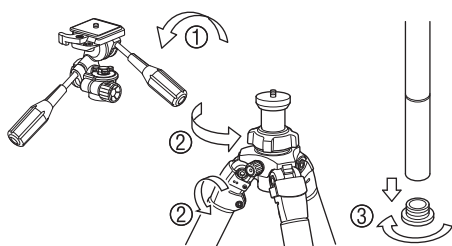


雲台に手をそえてエレベーターストップ、エレベーター締め付けナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとナット、ストップをロックしてください。

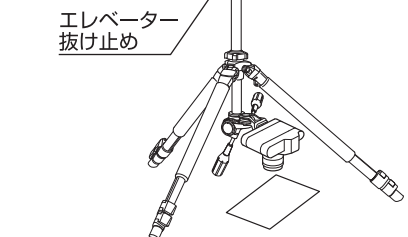
雲台はロックする前に手を離すと急に落下し、手を挟む恐れがありますので、締め付けナットは側面をつかんで操作してください。

ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

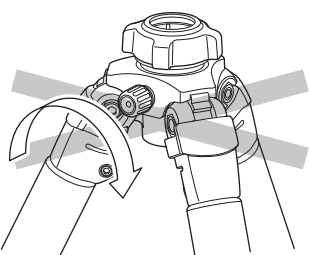
エレベーターの上下差しかえ



⚠注意



⊘禁止



- ①エレベーターの上下差しかえまたは交換のときは、必ず雲台をはずしてください。
- ②エレベーターストップとエレベーターロックナットをゆるめます。
- ③エレベーター抜け止めを外しエレベーターをぬきとります。

入れかえが終わったらストップを締めつけ、落下防止のためエレベーター抜け止めを必ず取り付けてください。

エレベーターを抜きとったままエレベーターストップを操作しないでください。内部の部品が破損します。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。



*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービス

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ
ケンコー・トキナー・コニカミノルタお客様センター
Tel. 0120-162-414

修理に関するお問い合わせ
ケンコー・トキナー・コニカミノルタカメラ修理相談窓口
Tel. 0120-975-124

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19

製造元
スリック株式会社
〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

SLIK®

PRO 500 HD N

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⊘禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。説明にしたがい事故のないようお使いください。

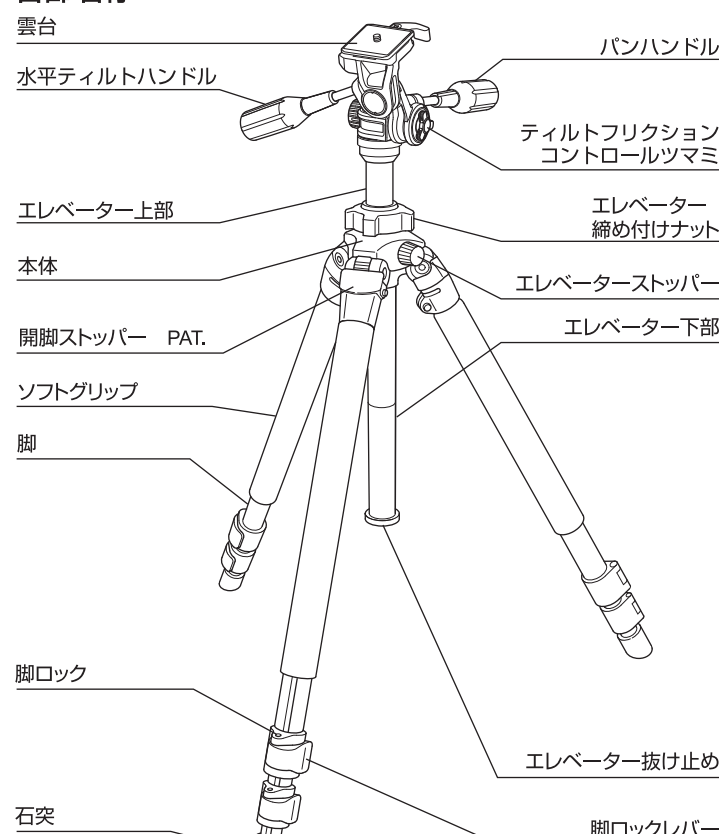
P916-1

仕様

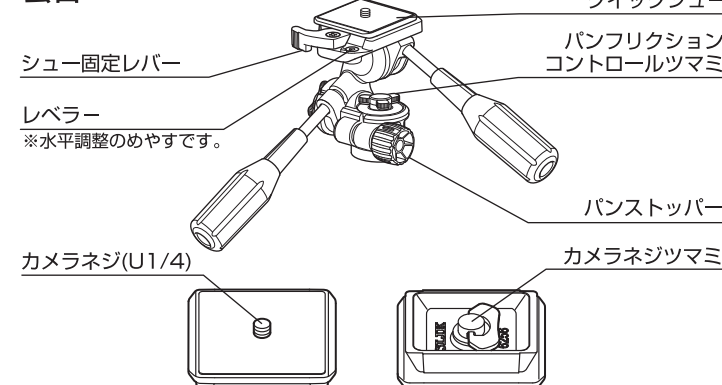
縮長	710 mm
全高	1,649 mm
EVスライド	260 mm
質量	2,680 g

三脚ケース付

各部名称



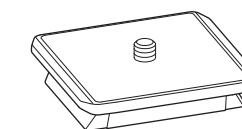
雲台



⊘禁止 パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

別売品

スペア用クイックシュー
6256N SH-726E N 用



搭載する機材

⊘禁止

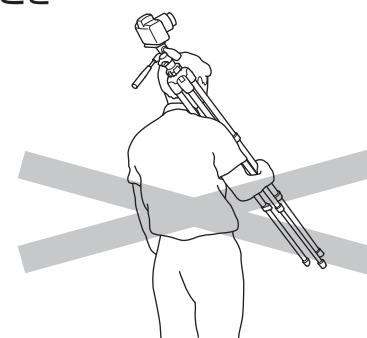
この製品の固定力は、4kg位までの機材を載せるように作られています。これ以上の機材は載せないでください。フリクションコントロール機能については2kgまでとなります。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは、上のクラスの雲台をお使いください。

⚠注意

ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。(無料修理保証の対象外です。)※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

持ち運びのとき

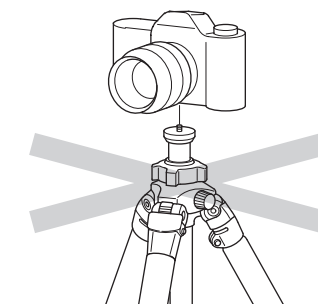
⊘禁止



三脚にカメラを取り付けたまま移動すると、思わぬ事故をおこすことがあります。カメラは三脚から外して運搬してください。

雲台取り付けネジ

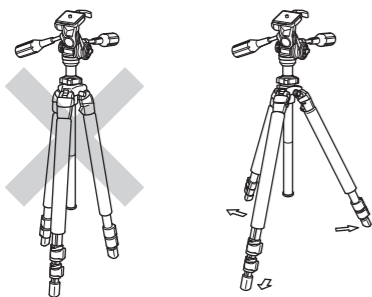
⊘禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

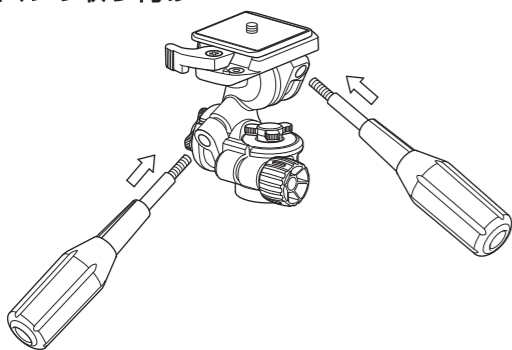
機材の取り付けとセットアップ

⚠注意



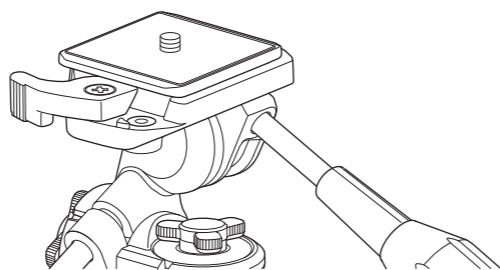
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

パンハンドルの取り付け



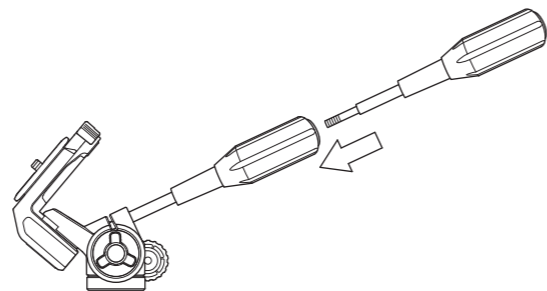
雲台に2本のハンドルを取り付けます。ハンドルに長・短はありません。どちらにも取り付けることができます。

レベラー



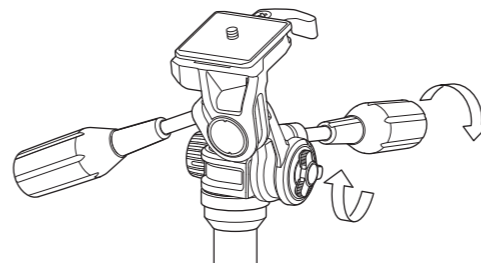
カメラ台の上部にあるレベラーを使用すると、写真撮影時の水平出しのめやすとすることができます。ムービー撮影時は、脚の長さ調整で三脚自体の水平を出します。雲台の水平調整だけでは、パンニング撮影の水平が出ません。

収納



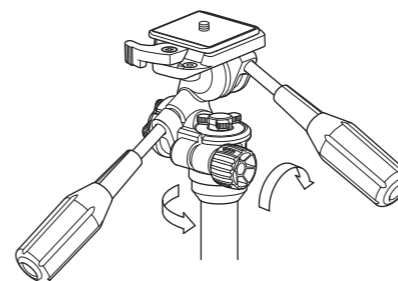
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のハンドル接続部にねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

ムービー撮影の方法



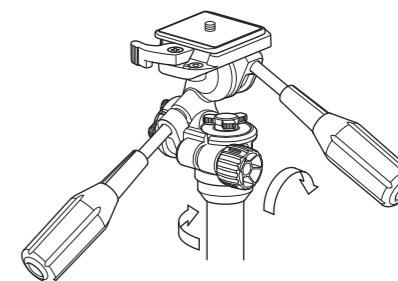
パンハンドルをゆるめた状態で、ティルトフリクションコントロールツマミを締めると、ティルト方向の動きが固くなります。パンストッパーをゆるめた状態で、パンフリクションコントロールツマミを締めると、パン方向の動きが固くなります。パンハンドルをゆるめすぎると、滑らかな操作は出来なくなります。機材の重量や好みに合わせて、動作の固さを調整でき、ムービー撮影に合わせた動きを実現できます。フリクションコントロールツマミの調整範囲は一回転以内です。このツマミの締め付けだけではカメラは完全に固定されませんので、パンハンドルから手を離すときは、必ずパンハンドル・パンストッパーを締め付けてください。

雲台の取り外し



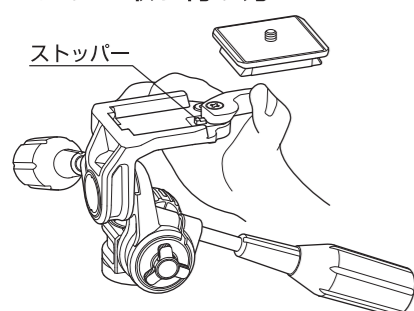
雲台を取り外すときは、始めに、エレベーターをエレベーターストッパーでしっかり固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかり締め込み、パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け

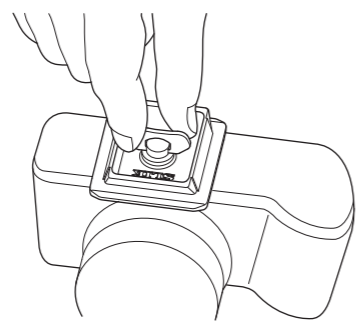


雲台と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりに止まるまで回します。パンストッパーをきつく締めて、さらに雲台を時計まわりにねじ込みます。パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

カメラの取り付け方

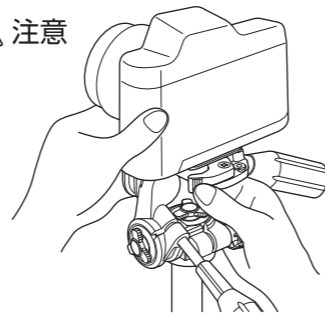


シュー固定レバーをロックがかかるまで起こし、クイックシューを後ろに引き抜きます。このときシュー固定レバーは、ストッパーにより起きた状態になっていますので、無理にもどさないようにしてください。



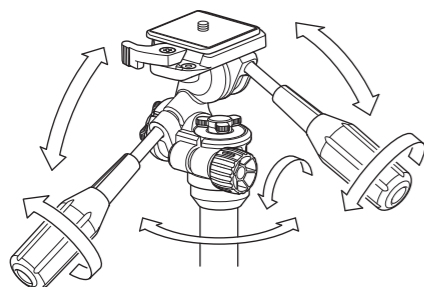
シューの裏側の「SLIK」の文字がカメラレンズ側にくるように位置決めをします。カメラ底面とクイックシュー上面が平行になるように手で支えながら、カメラネジツマミでしっかりと締め付けます。

⚠注意



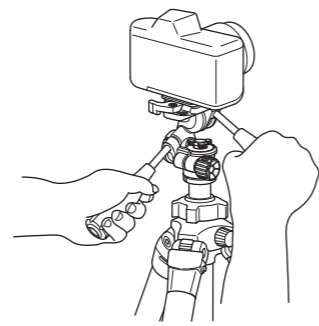
カメラ付きのシューをカメラ台のシュー固定レバー側からセットすると、シュー固定レバーは自動的に閉じますが、さらにレバーを固定側に締め確実に固定します。カメラと雲台の固定を確認してから、手を離してください。

雲台の使い方



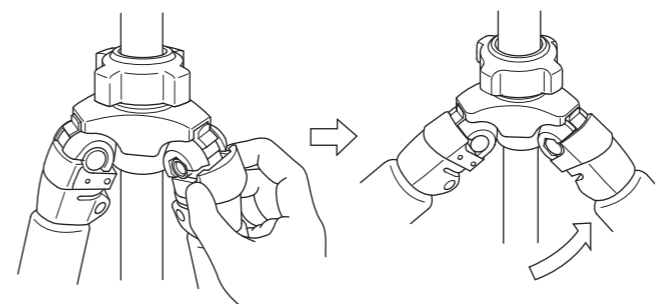
パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き・下向きにティルトできます。パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向にパン出来ます。水平ティルトハンドルをゆるめると、縦位置・横位置の調整と水平調整ができます。

⚠注意



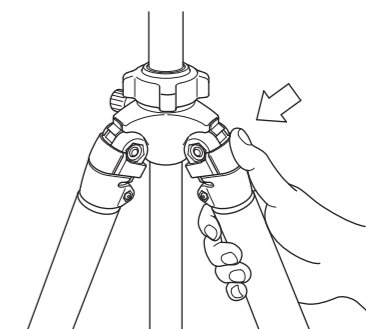
パンハンドル／水平ティルトハンドルをゆるめたときは、固定するまでしっかり握って操作してください。

開脚角を変える



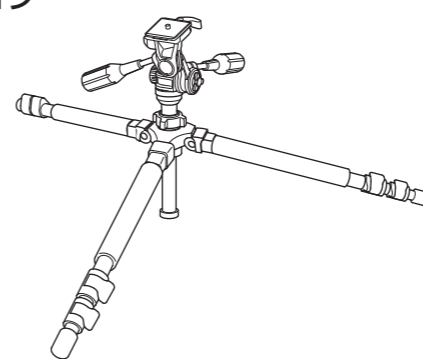
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角(ミドル、ローのポジション)がえらべます。

⚠注意

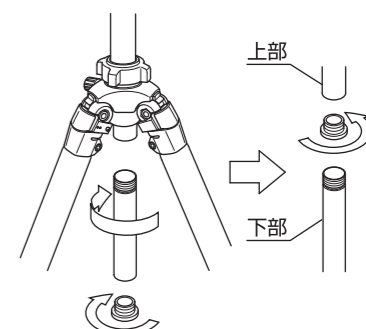


使用角度が決まったらストッパーをつきあたりにあたるように確実にもどしてください。

ローポジション



エレベーターの下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。



エレベーター抜け止めと、エレベーターの下部を矢印方向にねじり、取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。